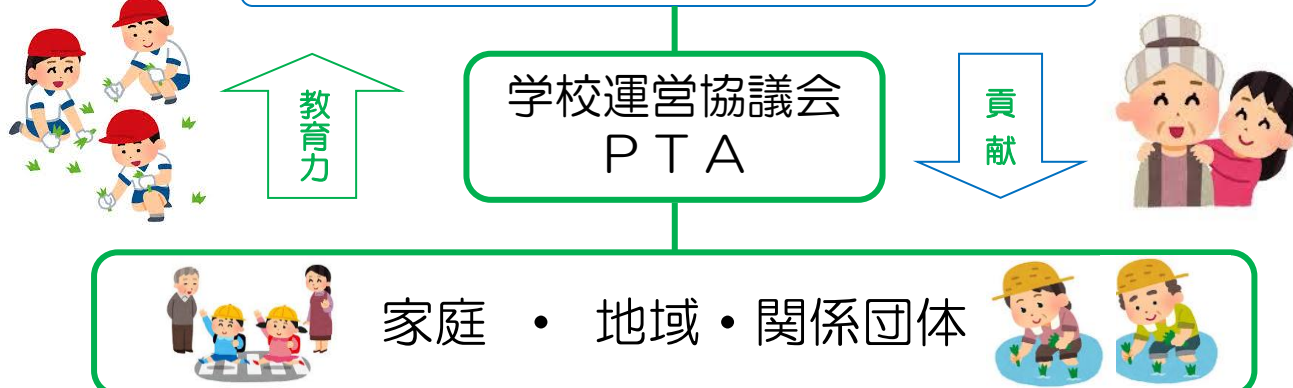
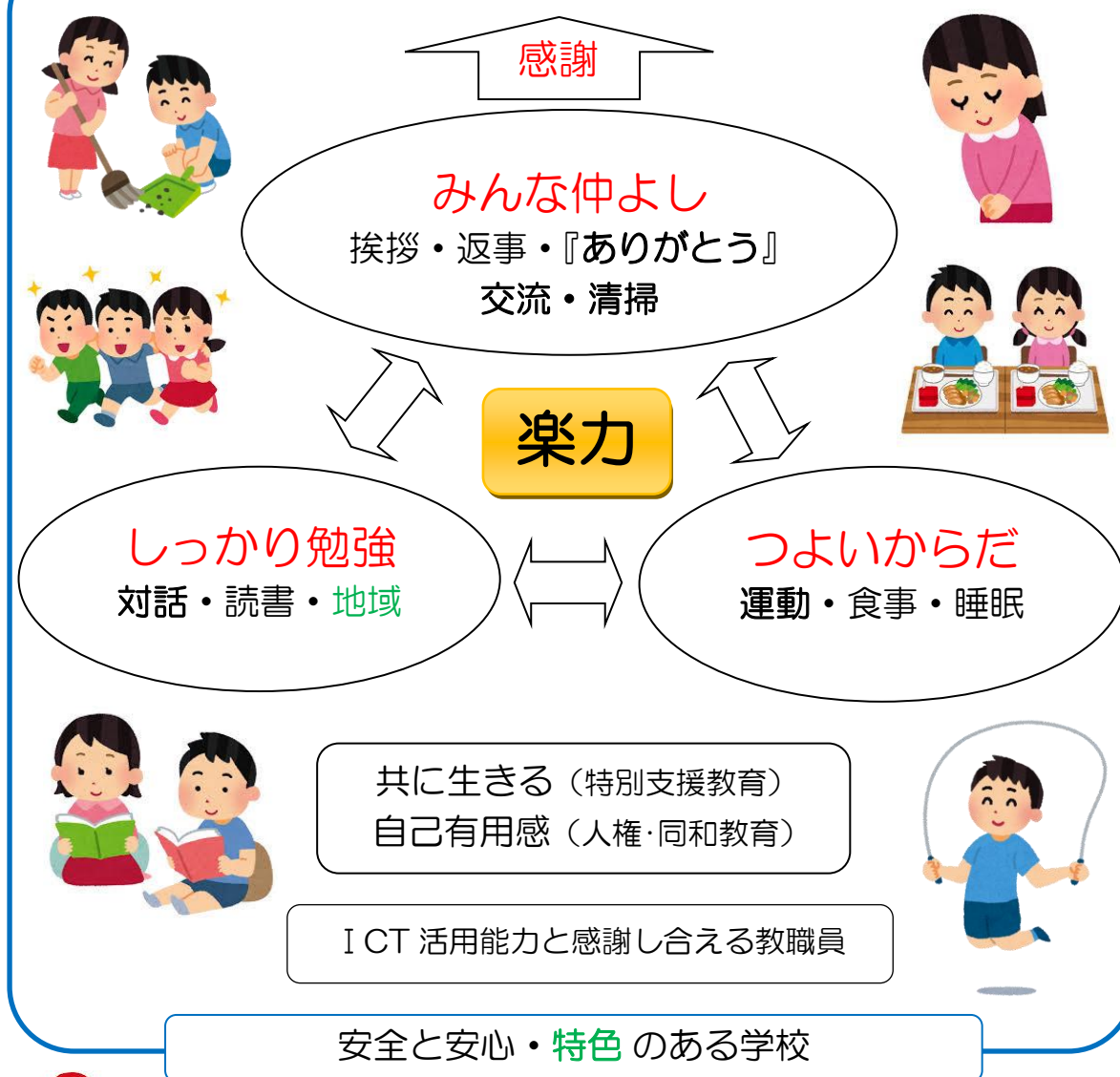


令和5年度 教 育 計 画 愛南町立緑学校						学校番号 090	
校長名	増田 元徳	学級数	4 (1)	児童数	19	教職員数	7

学校の教育目標

『ありがとう』がこだまするふるさと緑小学校



重点目標	◎ 『楽力』を合言葉に、日々の『挑戦』を楽しむ。 1 豊かな心を育てる教育の推進 (1) あいさつ・返事・『ありがとう』・交流・清掃活動を、家庭・地域と連携・協働して推進し、「支え合い、高め合い、感謝し合う」風土の醸成に努める。 (2) 「考え、議論する道徳」の授業の充実を図り、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を育てる。 2 確かな学力を育てる教育の推進 (1) I C Tを積極的に活用し、個別最適化と主体的・対話的で深い学びの視点に立った楽しく分かりやすい授業づくりに取り組む。 (2) 地域の「ひと・もの・こと」を生かした体験学習を行い、学習意欲の向上と郷土愛の育成を図る。 (3) 基礎的・基本的な知識・技能の定着と読書活動の充実を図る。 3 健康教育の推進 (1) 体育科の授業や業間、放課後の体育的活動を充実させると共に、パーフェクト自己新記録賞の活用やえひめ子どもスポーツ I Tスタジアムへの参加等により、運動の生活化を図る。 (2) 『立腰』の実践や睡眠時間の確保等、家庭と連携・協働して健康的な生活習慣づくりに努める。 4 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化 (1) 個々の強みを生かした参加型研修を取り入れる中で、学校運営に参画する意識の高揚を図る。 (2) G I G Aスクール構想の推進に向けた専門的・実践的な研修を行う。 5 人権・同和教育の充実 (1) 共感・協働・感謝を基盤とした人権・同和教育を推進し、自己有用感を育てる。 (2) 児童会活動の活性化を図り、主体的な態度や集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい学校生活を送ろうとする態度を育てる。 6 特別支援教育の充実 (1) 共生社会の形成に向けて、交流や共同学習を積極的に実施する。 (2) 特性やニーズに応じた指導・支援計画を作成し、全教職員で共通理解を図り、特別支援教育を組織的に推進する。 (3) 専門機関と連携して重層的な支援体制を構築し、困り感のある児童への支援の充実を図る。 7 一人一人を見つめ育てる生徒指導の徹底と健全育成の推進 教育相談等の児童一人一人と向き合う時間の確保に努め、人間関係づくりを核とした生徒指導の充実を図る。 8 安全・安心な学校づくりと命を守る教育の充実 (1) 全教育活動を通して、自他の安全に関する情報を正しく判断し、自らの安全確保のために主体的に行動する態度を育成する。 (2) コミュニティ・スクールの実践を通して、地域に開かれた持続可能な学校づくりとともに、安全・安心な地域づくりに貢献できる学校づくりを推進する。
管理運営	1 人的管理 (1) 長時間勤務の是正に向けて、I C Tの活用や会議等の更なる精選、地域人材を生かした学校支援体制を整え、働き方改革を推進する。 (2) 心理的安全性を高め、安心して「話し合い」「助け合い」「挑戦」「新規歓迎」できるチーム緑を目指す。 (3) 服務規律を遵守し、教育公務員としての立場を自覚して、信用の保持に努める。 2 物的管理 (1) 整理整頓・安全点検に努め、季節感のある安全・安心な教育環境づくりに努める。 (2) 施設・設備及び教材・教具の有効な活用を図るとともに、点検・整備に努める。 3 事務管理 (1) I C Tを積極的に活用し、ペーパーレス化と事務処理の効率化を図る。 (2) 城辺共同学校事務室と連携・協働して、正確で迅速な事務処理と校務支援システムを活用した効率化に努める。
本校教育の特色	豊かな自然や文化、地域からの手厚い支援という特徴・強みを最大限に生かしながら、子どもたちの主体的な学習態度を育て、異学年や異校種、他校との交流学习やI C T機器を活用した対話による深い学びを実現していく。そして、校訓「つよいからだ・みんな仲よし・しっかり勉強」のもと、コミュニティ・スクールとして家庭や地域と連携・協働し、『ありがとう』がこだまするふるさと緑小学校の児童を育てていく。